

スマートフォンは今や自転車ライフの相棒。音楽、地図、記録と大活躍ですが、扱い方を誤ると一転してトラブルメーカーにもなります。この春からは自転車の交通ルールもアップデート。「知らなかった」では済まされない時代です。今回は、法改正のポイントと、安全にスマホと付き合うコツを MINOURA 視点でお届けします。

こんなカードを作ってみました>>>>>>>>



【「ながらスマホ」が本格的に取り締まり対象になります！】

自転車に乗るとき、携帯電話を触ることはありますか？着信や重要な通知を見逃さないよう目に入る場所に置いたり、音楽を再生したり、地図アプリを表示してナビ代わりに使ったり、サイクルコンピューターの代用として各種データを確認したり。スマートフォンは今や自転車ライフに欠かせない存在です。——しかし、走行中にスマートフォンを手を持って使用する行為が、4月1日から明確に「違反」になります。

【 道路交通法改正のポイント 】

2026 年 4 月 1 日より道路交通法が改正され、自転車の交通違反にも「**反則通告制度**」（いわゆる青きつぷ、反則金制度）が適用されます。

ここで押さえておきたいのは、「これまで許されていた行為が、今回の改正で新たに違反になる」というわけではない、という点です。

実は「ながらスマホ」は、すでに **6 か月以下の懲役または 10 万円以下の罰金**という刑事罰に問われる可能性がありました。

ただし刑事手続きでは、厳密な違反立証や裁判が必要となり、時間や手間が非常に大きくなります。そのため、現実的には取り締まりが難しく、違反が見逃されてきたという側面があったようです。

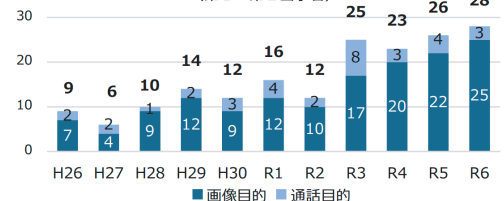
今回の制度改正は、実態に即した形で安全を守るための仕組みが整った、というのが実情です。

【 中高生は特に注意が必要です 】

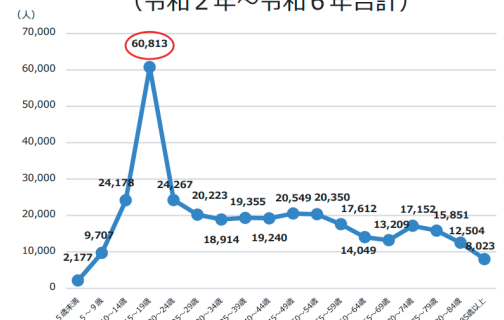
交通事故の統計を見ると、自転車事故の死傷者数は高校生年代でピークを迎えます。さらに中学生になるとスマートフォンの保有率が急激に上がり、それに伴ってスマートフォンが原因となる事故の割合も増加しています。走行中にスマートフォンを手を持って通話する行為や、画面を注視する行為は、今回の改正で刑事手続きに比べ、簡易迅速な違反処理が行われることとなりました。反則金は **12,000 円**と、自転車の反則金の中でも最も高額な部類です。それだけ危険性が高く、強く問題視されている行為だと言えるでしょう。



携帯電話等使用自転車関連死亡・重傷事故件数の推移
(第1・第2当事者)



年齢層別自転車乗用中死傷者数
(令和2年～令和6年合計)



【 安全にスマートフォンを活用するために 】

警察は「罰金を取りたい」わけではなく、守りたいのは安全です。
とはいえ、スマートフォンは現代の自転車生活に欠かせないツールでもあります。

だからこそ、走行中にスマートフォンを手を持つ行為は避けることが何より重要です。

安全に情報を活用するためには、「端末を確実に固定できるホルダーを使用する」「両手をハンドルから離さずに走行する」ことが基本となります。

なお、ホルダーに固定している場合でも、走行中に画面を注視したり操作したりすることは禁止されています。操作は必ず安全な場所に停車してから行いましょう。

【 大きく重くなったスマートフォンを、確実に固定したい方へ 】

シリコン製ではなく、金属・樹脂タイプのしっかりしたホルダーがおすすめです。

ミノウラは、スマートフォンホルダーをいち早く市場に投入してから14年以上。現在も販売を続けていることが、信頼の証です。



iH-700

iH-700 :
直径 22mm ~ 35mm

対応 スマホサイズ	最小	最大
たて	12.3cm	17cm
よこ	5.5cm	8.5cm
厚み	0.6cm	1.8cm

さまざまなハンドル径・画面サイズに対応した上位モデル。
工具不要で、手で回すだけで画面を 360°回転できます。

法改正後、「走行中の操作」が検挙対象となる中でも、例えば画面の向きを変えて地図の表示を変えたいといった時でも、停車時に瞬時に向きを変更して走り出すことも出来るのでおすすめです。(警察庁交通局資料より)



iH-220

iH-220M :
直径 28mm ~ 35mm
iH-220S :
直径 22mm ~ 29mm

対応 スマホサイズ	最小	最大
たて	9.8cm	16.3cm
よこ	5cm	8.5cm
厚み	0.6cm	1.8cm



iH-520

iH-520OS :
直径 28mm ~ 35mm
iH-520STD :
直径 22mm ~ 29mm

対応 スマホサイズ	最小	最大
たて	9.8cm	16.3cm
よこ	5cm	8.5cm
厚み	0.6cm	1.8cm

しっかりとしたホールド力とコストパフォーマンスが特長。
iH-220はワンタッチクランプ式、iH-520はボルト固定式となっています。
※ハンドル径に合わせてサイズ違いがありますので、ご注意ください。



春限定 | ボトルケージ SAKURA カラー再登場

ご好評いただいた『春限定「SAKURA カラー」』が再登場し、受注を開始しました。
ビビッドなカラーが多いミノウラのラインナップの中で、やさしく上品な色合いが特徴です。

春に向けて、自転車もほんのり桜色に衣替えしてみませんか？

MINOURA

アイデア・要望などございましたらぜひお話し頂ければ幸いです。

〒503-2312 岐阜県安八郡神戸町下宮134-1
TEL (0584)27-3131 / FAX (0584)27-7505
www.minoura.jp / infodesk@minoura.jp